

【スペシャルオリンピックス、知っていますか】

平成30年3月1日、長谷川会長、児山副会長、池田の3名で、「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」実行委員会事務局を訪問してきました。

事務局長の八塚奈保子様と面会し、スペシャルオリンピックスに対する鍼灸ボランティア活動について協議をしてきました。

八塚事務局長から、「スペシャルオリンピックス」の概要、及び「ボランティア活動」について熱心な説明をしていただきました。

(2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏期大会について)

「スペシャルオリンピックス」とは、健常者の「オリンピック」、身体障害者の「パラリンピック」と並ぶ、知的障害の人たちのスポーツの祭典です。「オリンピック」と同じように4年毎に夏期と冬期があり、その間に日本大会が開催されます。今年は、日本の夏季大会が愛知県で開催される事になりました。

「スペシャルオリンピックス」では、性別・年齢・スポーツのレベルを問わず、共に成長し、共に楽しむ、そしてその経験を分かち合うことが重要と考えているそうです。

障害者の成長に、スポーツは大きなプラスになり、また、スポーツを通じて知的障害のある人たちと健常者が共に活動することは、両者にとって大きなプラスになるとの事です。

開催日程 2018年9月22日(土)～24日(月・祝)3日間

開催地 愛知県内各所 (名古屋市、豊田市、刈谷市、日進市、大治町を予定)

参加者数 約16,400名

アスリート / 約1,000名、役員・コーチ / 約550名、大会役員・審判 / 約350名、ボランティア / のべ約4,500名、観客 / のべ約10,000名。

実施競技(予定)／13競技

競泳・陸上競技・バドミントン・バスケットボール・ボウリング・馬術・サッカー・ゴルフ・体操競技

卓球・テニス・バレーボール・フライングディスク

(ボランティア活動について)

「ボランティア」とは、恵まれない人や障害のある人のために行う奉仕・慈善活動という認識で「～をしてあげる」という奉仕感・使命感だと思われていますが、しかしそれはほんとうのボランティアとは違うとの事です。

八塚事務局長の言われるボランティア活動とは、障害者が、社会の一員として、ともに生き、ともに学び、ともに育ち、ともに暮らしていくために障害者自身が「何かをやりたい！」と思うことを大切に、「自分のできることをして自分自身を向上させる」（障害者の自立）ための手助けをするという事だそうです。

人がだれでももっているやさしさや思いやりを、周囲の人や生き物、自然や環境のために役立つことをすれば、ボランティア活動を通じて自分自身をより成長させることにもつながるのではないのでしょうか。

（一社）愛知県鍼灸師会のボランティア活動について

今回の「スペシャルオリンピックス」では、当然のことながら愛知県医師会も全面的にバックアップをされる予定との事です。私たちが活動する際には、愛知県医師会とも連携していくこととなります。医師会と連携する為には、鍼灸師に何が出来るのかを書類にて事前に医師会と事務局に提出しなければなりません。現在、副会長の児山がこの文書を作成中です。また、会場が各地にあるため、ある程度の人員が必要です。その為には会員の皆さまの協力が是非必要です。



（最後に）

私たち（一社）愛知県鍼灸師会会員は、「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」の各競技場でのボランティア活動に参加させていただき、知的障害のある人たちと共に活動して、社会に貢献していきたいと、八塚事務局長にお伝えしました。

今後、「愛知 実行委員会事務局」と話し合いを重ね、具体的な活動内容を詰めていきたいと思っています。会員の皆様方には、是非とも「スペシャルオリンピックス」への参加・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

何ごとも、行動を実行する「はじめの一步」が大切です。

文責 総務 池田